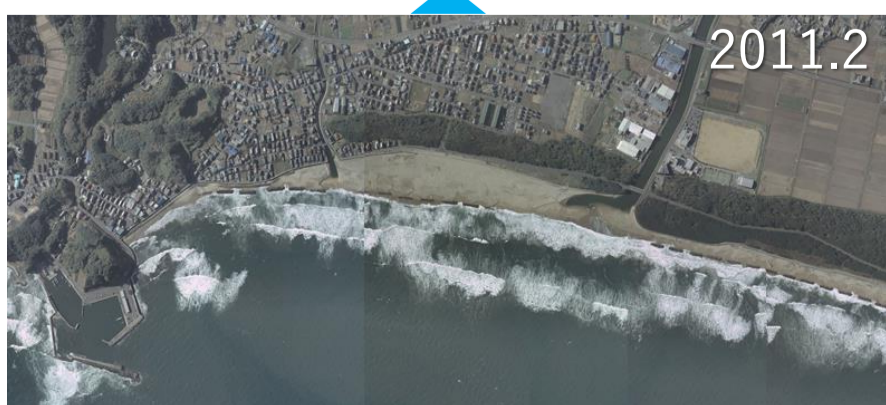


沼ノ内地区

福島県いわき市



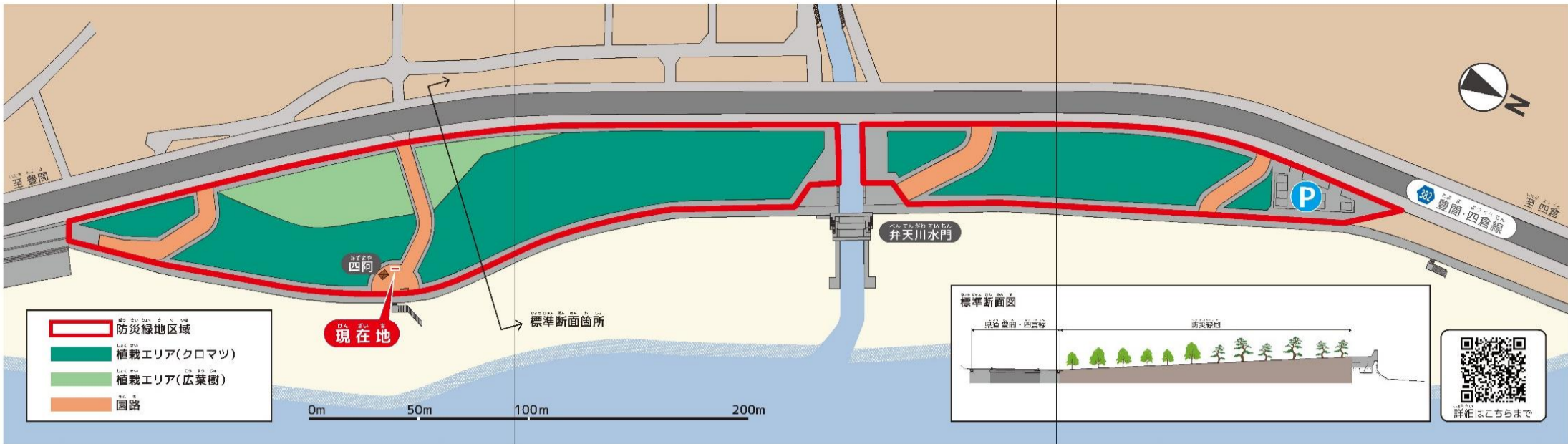
沼ノ内のうつりかわり



来て見て沼ノ内



沼ノ内防災緑地案内図



ぼうさいりよくち
『防災緑地とは…』

防災緑地は、①津波から人や家を守る、②地域の交流の場、③緑豊かな環境や景観をつくるという3つの大きな役割をもっています。

また、川や海の堤防と道路が一体になって津波から地域を守る「多重防御」という働きによって、防災力が総合的に向上したまちづくりを目指しています。

ぬまのうちぼうさいりよくち
『沼ノ内防災緑地について』

沼ノ内防災緑地は、延長約0.6km、幅約50mで面積1.6haです。防災緑地の海側には潮風に強いクロマツ、住宅地側には沼ノ内地区に自生している代表的な樹種(クヌギ等の広葉樹)を植えた緑地帯となっております。

ぼうさいりよくち
『防災緑地をきれいにしましょう。』

沼ノ内防災緑地は、みなさんが楽しく過ごすための施設です。施設をいつもきれいにするためには、一人一人がマナーやルールを守ることが大切です。

お弁当やジュースの空き缶などのゴミ、また、ペットのフンは必ず持ち帰りましょう。

※この案内図は、防災緑地に実際にあるレイアウトを採用しています。

豊間・薄磯・沼ノ内防災緑地内の桜について

豊間・薄磯・沼ノ内の3地区は平成23年3月11日に発生した『東日本大震災』で大きな被害を受けた地区です。3地区は東日本大震災からの復旧・復興を祈念して、復興事業で整備した施設に桜を植える取り組みを進めました。防災緑地内の桜は、その取り組みの一環で植えられたものです。



八重紅大島 (ヤエベニオオシマ) 豊間 薄磯

オオシマザクラの花が八重咲き(重弁化)し、花弁の色が淡紅色に変化した品種です。オオシマザクラとサトザクラが交雑して生じたという説もあります。オオシマザクラと同様に潮風に強い性質があります。



河津桜 (カワツザクラ) 豊間 薄磯 沼ノ内

1950年頃に伊豆半島で見つめられた原木が静岡県河津町に移植され、この名がついたといわれています。淡紅紫色の花は早咲きの桜としても好まれており、いわき市内でも植栽されることが増えてきました。



一葉 (イチヨウ) 豊間

もと東京の荒川堤で栽培されていた品種です。花は淡紅色で、雌しべの下半部が緑色の葉状に変化していることから、この名前と呼ばれていますが、葉化しない雌しべもあるそうです。若芽は開花時に展開します。



山桜 薄磯

宮城・新潟県以西の本州、四国、九州に分布する落葉高木です。昔は桜といえばヤマザクラをさし、有名な吉野の桜もヤマザクラです。葉の展開と同時に開花する性質を持ち、和歌や俳句に詠まれたり、文様に描かれるなど、古くから日本人に親しまれてきました。いわきでは勿来の関が名所です。



関山 (カンザン) 豊間

もと東京の荒川堤で栽培されていた品種です。濃紅色で八重咲きの美しい花と、寒さや病害虫に強く、生育がよいことから、広く栽培されています。お祝いの席で出される桜湯にはこの花の塩漬けが用いられています。

※この説明板は市内の樹木医、並びに公益財団法人日本花の会に協力頂き作成しました



防災緑地入口看板



あずまや
1号広場 (四阿と縁台)



ベンチ



駐車場 (10台)